

伊勢警察署協議会議事録

令和5年度第2回伊勢警察署協議会	
日 時 場 所	令和5年9月12日（火）午後2時～午後3時30分 伊勢警察署4階大会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会 村田典子委員長</p> <p>2 警察署協議会 11名 上田聖子委員、大見由佳委員、大元秀一委員、 小川祐子委員、覺田満里委員、木本博文委員、 下寛明委員、龍田芳子委員、立野智洋委員、 中村徹也委員、村田鎮男委員</p> <p>3 警察署 11名 署長、副署長、会計課長、警務官、留置管理課長、 生活安全課長、地域課長、刑事第二課長、交通第一課長、 交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 警察署長挨拶</p> <p>2 公安委員会委員長挨拶</p> <p>3 特殊詐欺対策について（生活安全課長）</p> <p>4 協議内容</p> <p>(1) 特殊詐欺対策について</p> <p><委員> 高齢者が特殊詐欺の被害に遭う場合、電話が多いと聞く。 対策として、電話機の近くに注意を促す文書を貼っておく だけでも一定の効果があるのではないかと思う。</p> <p>【署長】 被害防止の手段として参考とする。</p> <p><委員> 特殊詐欺の大半が固定電話に電話がかかってくると聞いた が、携帯電話の場合はどのような手口があるのか。</p> <p>【署長】 スマートフォン等の場合、メールやショートメッセージで 送られてくることが多い。</p> <p><委員> 架空請求詐欺と思われる葉書やメールを受けた場合、無視 をすることは有効か。</p> <p>【署長】 警察では、架空請求などの相談を受理した場合、毅然と対 応をすることや、相手にしないように教示している。 犯人からは、何度もしつこく連絡が来ることもあるが、一 貫した対応をとってもらいたい。</p> <p><委員> 架空請求などの不審な電話が自宅にかかってきた際、初め のうちは、電話に出た上で切断していたが、電話に出ないよ うにしてから、かかってくる回数が減った。</p> <p>【署長】 不審な電話に対しては、電話に出ることなく、今後も同様 の対応をしていただきたい。</p>	

<委員> 詐欺をテーマにした防犯教室に出席した。

誰もが詐欺に遭わないように注意しているが、騙す側は、金融機関の営業終了間際を狙って電話をしてきて焦らせるなど、言葉巧みに人間の心理をついてくるとの説明を受けた。

対処方法として、自分一人で判断せず、身近な人に相談するようにと教えていただいた。

また、特殊詐欺対策として、警察が自動通話録音警告機の貸出しを行っていることや、市では、自動通話録音警告機をはじめとした特殊詐欺等被害防止機器を購入する際の助成金制度があることを教えていただいた。

こうしたことを多くの人に知ってもらいたい。

【署長】 特殊詐欺の被害者は、焦るあまり、行員や店員の制止を全く受け入れない状態に陥ることがある。

三重県警察では、事業者向けに振り込め詐欺被害防止用「声掛け支援シート」を作成しており、これを活用して被害者を落ち着かせるよう依頼している。

「声掛け支援シート」は県内のコンビニエンスストア等を中心に配布しているが、シートを活用することでお客様に声を掛けやすくなったと好評を得ている。

今後は、コンビニエンスストア以外の金融機関などでも有効なシートの作成を考えていきたい。

特殊詐欺等被害防止機器の購入費用の助成については、伊勢市、玉城町及び南伊勢町で行われているので、活用してもらいたい。

<委員> 「声掛け支援シート」は、コンビニエンスストアや金融機関に配付するだけではなく、一般市民でも活用してはどうか。

【署長】 活用していただいているシートは電子マネーカードを購入する際のものであるので、様々なパターンを用意して有効活用していきたい。

<委員> 「声掛け支援シート」を使用する対象は、高齢者に限られるのか。

それとも店員の判断で幅広い年齢層で使用しているのか。

【署長】 シートの活用方法については、各コンビニエンスストアに任せているが、高齢者だけでなく、被害が疑われる場合には若年層に対しても積極的に活用していただいている。

<委員> コンビニエンスストアで、タバコなどの購入者に対してタッチパネル方式で年齢確認を行っているが、この方法を活用できないか。

【署長】 特殊詐欺対策の参考とさせていただく。

(2) 特殊詐欺が増加している要因について

<委員> 今年は特殊詐欺の被害が大幅に増えているとのことであるが、その原因などを教えてほしい。

話は変わるが、個人的に実践している不審電話への対策として、相手に折り返し電話する旨を伝え、電話を切断することで、気持ちを落ち着かせ冷静な判断や対応がとれるようにしている。

【署長】 特殊詐欺は、全国的に増加しており、各種対策も追いついていない状況である。

特殊詐欺だけでなく、他の犯罪も増加しており、新型コロナウイルス感染症の収束により、人々の活動が活発化したこ

とも要因と思われる。

(3) 海外の特殊詐欺被害について

＜委員＞ 特殊詐欺は日本だけでなく、海外でも被害はあるのか。
また、海外ではどのような対策が取られているのか。

【署長】 中国でも同様の詐欺被害が発生しているようであるが、対策については把握していない。

(4) 警察への相談について

＜委員＞ パソコン画面に表示される不審な警告文や宅配業者を装うメールなどの対応に苦慮している。

警察に相談すると親身に話を聞いてもらえるが、一般市民にとっては、110番通報や警察署への電話はハードルが高く躊躇してしまう。

警察への相談や通報に対して抵抗感がなくなるように、積極的な広報をお願いしたい。

【署長】 参考とさせていただく。

(5) 不審者の来訪について

＜委員＞ 先日、高齢の両親が住む家に、見知らぬ若者が訪れ、室内にいた父に「財布は落ちていなかったか。」などと声を掛けたことがあった。

父は、不審に思い、相手を追い返したが、犯行の下見だったのではないかと感じている。

【署長】 下見の可能性も考えられる。

不審に思う場合は、すぐに警察に相談するか、緊急の場合は110番通報してほしい。

(6) 不審な手紙について

＜委員＞ 私が利用している金融機関名で、「マネーロンダリング及びテロ資金供与対策への取組を進めるため、口座情報を提供してほしい」との内容の葉書が届いた。

葉書に印字された二次元コードを読み取ったところ、メールアドレスの登録を求められたため、不審に思い、入力しなかった。

このような不審な葉書が送られてきた時の対処方法を教えてほしい。

【署長】 少しでも不審点があれば、まずは金融機関に正規の通知であるのか確認してもらいたい。

5 交通シミュレーター体験

6 公安委員会委員長講評

特殊詐欺の被害防止対策については、三重県警察を挙げて取り組んでいるところであるが、認知件数、被害額共に増加しており、深刻な状態が続いている。

また、手口も様々で、犯行グループは社会の変化に応じて手口を巧妙に変化させている。

本日、協議会委員の皆様からいただいた貴重な意見を参考に、被害防止対策を講じていきたい。

7 警察署長謝辞

備 考	報道機関 1社1名
-----	-----------